

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年8月8日

上場会社名 株式会社ゲオディノス 上場取引所 大
 コード番号 4650 URL http://www.geodinos.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 光安 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉住 実 TEL 011-241-3951
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成25年3月期第1四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,961	△2.6	△36	—	△76	—	△84	—
24年3月期第1四半期	2,013	△3.1	6	—	△31	—	△61	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△19.86	—
24年3月期第1四半期	△14.46	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	10,457	2,245	21.4	526.08
24年3月期	10,725	2,339	21.8	548.35

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,240百万円 24年3月期 2,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,230	2.0	30	△60.0	△60	—	△80	—	△18.79
通期	8,700	4.6	250	34.4	80	247.8	50	—	11.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	4,303,500株	24年3月期	4,303,500株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	45,094株	24年3月期	45,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	4,258,406株	24年3月期1Q	4,258,412株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として、緩やかに回復がみられるものの、欧州政府債務危機により、金融資本市場の変動や海外景気の下振れ等によって、景気が下押しされるなど、依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社は、原点である「ホスピタリティ溢れる喜びと感動の場づくり」の理念のもと、一層の経営の効率化を図り、収益力の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間の売上高は19億61百万円（前年同四半期比2.6%減）、営業損失は36百万円（前年同四半期は営業利益6百万円）、経常損失は76百万円（前年同四半期は経常損失31百万円）、四半期純損失は84百万円（前年同四半期は四半期純損失61百万円）となりました。

当第1四半期累計期間における営業実績をセグメント別に示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	前年同四半期比 (%)
GAME運営部 (千円)	747,897	△11.4
フィットネス運営部 (千円)	581,234	14.7
ボウリング運営部 (千円)	279,007	△0.7
カフェ運営部 (千円)	143,729	△13.8
ディノス施設運営部 (千円)	209,256	△2.3
(シネマ) (千円)	(156,665)	(△6.8)
(その他) (千円)	(52,591)	(14.4)
合計 (千円)	1,961,126	△2.6

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
 2. ディノス施設運営部の(その他)は、土地・建物の賃貸収入等の売上であります。
 3. ディノス施設運営部のセグメント内訳は、内部管理上採用している区分によっております。

(GAME運営部)

GAME運営部につきましては、ゲオショップ内のゲームコーナーであるリトルパークの積極的な新規出店並びにUFOキャッチャーに代表されるプライズ機の景品を取れやすくすること（原価率重視からペイアウト率重視へ転換）やメダルゲームの貸出枚数を大幅に増加させる（時間消費型レジャーへの意識転換）などの施策を試み、6月より効果を上げ始めましたが、ゲーム機種及びプライズ機における景品のヒットが少なかったこと、スマートフォンの普及によるソーシャルゲームの人気の高まったことなどにより、売上高は7億47百万円（前年同四半期比11.4%減）となりました。

(フィットネス運営部)

フィットネス運営部につきましては、健康意識の高まりにより、利用者及び会員数が増えたこと、加圧トレーニング導入効果など会費外収入が増えたこと、女性専用の「ホットヨガスタジオ ハーティ（北九州小倉）」（平成23年12月）がオープンし、店舗数が増えたこと、千葉県旭市の老朽化した店舗を「ゲオフィットネス旭店」（平成24年4月）として、新築移転オープンした効果などにより、売上高は5億81百万円（同14.7%増）となりました。

(ボウリング運営部)

ボウリング運営部につきましては、健康増進レジャーとして、生涯スポーツとしての魅力普及強化により、ボウリング教室等をシニア層向けに開催したり、また3ゲーム目以降1ゲーム100円等の企画を開催した結果、売上高は前年同四半期と同水準で推移し2億79百万円（同0.7%減）となりました。

(カフェ運営部)

カフェ運営部につきましては、割引クーポンの発行やシニア割引の施策を実施しましたが、前事業年度に業界全体の規制強化の影響を受け、それが当第1四半期累計期間においても引き続いたことなどにより、売上高は1億43百万円（同13.8%減）となりました。

(ディノス施設運営部)

ディノス施設運営部につきましては、「その他」において、前期1店舗に事務所として他社への賃貸物件を増やしたことにより(平成23年6月)、不動産賃貸収入が増加しましたが、「シネマ」において、邦画作品の一部やODS(ライブ等映画以外の興行)は堅調に推移しましたが、洋画作品にヒットがなかったことなどにより、売上高は2億9百万円(同2.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期会計期間末の総資産は104億57百万円となり、前事業年度末に比べ2億68百万円減少しました。これは主に、現金及び預金等流動資産の減少(前期末比1億22百万円減)及び建物等有形固定資産の減少(同1億29百万円減)があったことによるものであります。

負債については、82億11百万円となり、前事業年度末に比べ1億74百万円減少しました。これは主に、買掛金等流動負債の減少(同75百万円減)及び長期未払金等固定負債の減少(同98百万円減)があったことによるものであります。

純資産については、22億45百万円となり、前事業年度末に比べ94百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少(同84百万円減)があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月10日付「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表した業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	795,742	719,041
売掛金	136,667	114,776
商品及び製品	24,633	24,287
原材料及び貯蔵品	71,796	70,123
その他	216,876	195,686
貸倒引当金	△1,110	△1,670
流動資産合計	1,244,605	1,122,244
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,935,155	3,876,914
アミューズメント機器(純額)	485,334	456,970
土地	2,699,860	2,699,860
リース資産(純額)	544,969	507,021
その他(純額)	222,011	216,611
有形固定資産合計	7,887,330	7,757,379
無形固定資産	29,545	27,775
投資その他の資産		
差入保証金	1,185,177	1,186,349
その他	362,948	343,404
投資その他の資産合計	1,548,126	1,529,754
固定資産合計	9,465,001	9,314,909
繰延資産	15,975	20,171
資産合計	10,725,583	10,457,325
負債の部		
流動負債		
買掛金	148,506	128,098
短期借入金	100,000	200,000
1年内償還予定の社債	188,000	208,000
1年内返済予定の長期借入金	1,277,308	1,280,636
1年内返済予定の長期未払金	382,203	381,571
未払法人税等	24,818	11,910
賞与引当金	26,213	19,556
ポイント引当金	4,400	6,700
建物解体費用引当金	27,380	27,380
その他	1,023,810	862,937
流動負債合計	3,202,642	3,126,791
固定負債		
社債	618,000	754,000
長期借入金	2,947,968	2,872,873
長期未払金	938,027	841,735
資産除去債務	137,634	138,377
その他	541,551	477,980
固定負債合計	5,183,180	5,084,965
負債合計	8,385,823	8,211,757

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,775	948,775
資本剰余金	1,128,995	1,128,995
利益剰余金	253,922	169,360
自己株式	△20,987	△20,987
株主資本合計	2,310,705	2,226,143
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,410	14,117
評価・換算差額等合計	24,410	14,117
新株予約権	4,644	5,307
純資産合計	2,339,760	2,245,568
負債純資産合計	10,725,583	10,457,325

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,013,133	1,961,126
売上原価	430,160	402,095
売上総利益	1,582,972	1,559,031
販売費及び一般管理費		
給料	398,727	403,533
賞与引当金繰入額	14,991	19,556
退職給付費用	5,039	5,262
水道光熱費	154,407	163,189
租税公課	21,115	18,365
地代家賃	317,041	303,127
減価償却費	171,883	193,353
修繕維持費	105,590	99,810
その他	387,394	389,307
販売費及び一般管理費合計	1,576,192	1,595,506
営業利益又は営業損失(△)	6,780	△36,475
営業外収益		
受取利息	965	884
受取配当金	838	1,022
受取保険金	1,221	624
その他	3,345	583
営業外収益合計	6,370	3,114
営業外費用		
支払利息	32,311	31,685
アミューズメント機器処分損	—	1,848
その他	12,001	9,507
営業外費用合計	44,313	43,041
経常損失(△)	△31,162	△76,402
特別利益		
固定資産売却益	—	12
特別利益合計	—	12
特別損失		
固定資産除却損	108	984
特別損失合計	108	984
税引前四半期純損失(△)	△31,271	△77,375
法人税、住民税及び事業税	8,068	8,066
法人税等調整額	22,222	△880
法人税等合計	30,291	7,185
四半期純損失(△)	△61,562	△84,561

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。